

「アジールフォンbiz」がソフトバンク携帯電話と連携する新サービス**「アジールフォンbiz for SoftBank X01NK」提供開始****～ソフトバンク携帯電話とモバイルセントレックスを利用シーンに応じて使い分け可能～**

アジールネットワークス株式会社(本社:東京都港区 代表取締役:篠田亘司 以下アジールネットワークス)は、本日、「アジールフォンbiz for SoftBank X01NK」の提供を開始することを発表します。

これは、アジールネットワークスがオープンソースのIP電話サーバソフト「Asterisk」(*1)をベースに自社開発したIP電話サービス「アジールフォンbiz」に、ソフトバンクモバイル株式会社のビジネス専用3G携帯電話「SoftBank X01NK/Nokia E61」を組み合わせることで、オフィスではモバイルセントレックス端末(*2)として、また外出時にはソフトバンク3G携帯電話として使い分けられるようにするものです。

競争が激化するビジネス環境においては、企業規模の大小にかかわらず、今後ますます音声およびEメールに代表される通信基盤の充実が、その勝敗に大きく影響するひとつの企業課題となっています。

モバイルセントレックス導入による社員のモビリティの向上は、業務効率の向上のみならず、これら企業活動の差別化に多くのメリットをもたらすことは、広く認知されつつあるところですが、他方、その導入コストが大きな障害となり、一部の大企業のみでの採用にとどまっていました。

また、モバイルセントレックス端末と携帯電話機が別端末の場合、2台持つことになり、「かさばる」「忘れる」なども想定できるため、できれば1台で、モバイルセントレックス機能と携帯電話機能を併用できるようにしたいというお客様からのご意見もありました。

アジールネットワークスは、IPPBX(IPを利用した回線交換機)のASP(システム期間貸し)事業を展開するなかで、そのような企業の通信基盤ニーズに応えるため、本サービスを企画しました。

本サービスで採用する「SoftBank X01NK/Nokia E61」には、あらかじめSIPやWiFi機能が装備されているため、安価な導入コストで携帯電話機能と最新のモバイルセントレックス機能の併用を実現することができます。

社内の内線電話端末をそのまま社外ではソフトバンク携帯電話端末として利用できるほか、社外でも無線LANホットスポット圏内において、内線電話端末としての利用も可能となります。

自社運営するIP電話の専門ECショップ「VoiPshop(ブイ・オー・アイ・ピーショップ)

<http://shop.agile.ne.jp/>にて、本サービスの申し込み受付を開始し、本サービスの申し込みから完了までを、ネット経由で行うことができます。

今回の発表について、ソフトバンクモバイル株式会社 法人事業統括部 副統括部長 兼 ビジネスマーケティング部長の白石美成氏は次のようにコメントしています。

「この度、「アジールフォンbiz」で弊社SoftBank X01NK/Nokia E61の利用ができるようご対応いただいたことについて大変嬉しく思います。弊社では従来より法人様向け端末として、オープンOSを採用したスマートフォンを展開しておりますが、中でもSoftBank X01NK/Nokia E61は業務利用を想定して無線LANでの内線利用を可能とする「SIP機能」「WiFi機能」の搭載を始め、音声だけでなくメール機能を充実させるQWERTYキーボードの採用やグループウェアを同期させるソリューション「Intellisync」に対応するなど、携帯電話に内線電話とメール機能を融合させる端末としてご提供しております。弊社は「アジールフォンbiz for SoftBank X01NK」とSoftBank X01NK/Nokia E61で実現するソリューションにより、今後益々法人様のモバイル利用が加速されることを期待します」

弊社認定パートナーよりご提供します。

アジルネットワークスでは、今回の新サービスの提供にあたり、ソフトバンクモバイルのソリューションプロバイダーとしての契約を締結、今後もソフトバンクモバイルが無線LAN対応のビジネス専用携帯電話端末をリリースする際には、積極的にサービス適応を推進、よりよい通信環境実現に向けて、サービス企画・提供していく予定です。

【アジルフオンbiz for SoftBank X01NK商品概要】

提供予定価格：導入費用：30,000円～、月額基本料金：3,000円～

* 導入規模により別途お見積

* SoftBank X01NK の端末価格は除く

提供開始時期：2007年8月下旬

発売元：アジルネットワークスおよびアジルネットワークスの販売代理店

【アジルフオンbiz for SoftBank X01NKの特徴】

導入費用：30,000円～、月額基本料金：3,000円～ 携帯電話とモバイルセントレックスが併用できるサービスとしては安価。

PBX装置が不要。

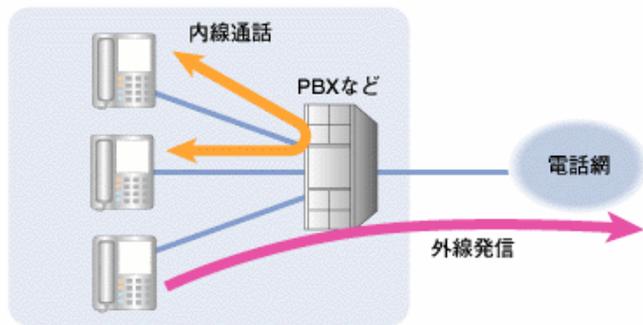
拠点間通話料金無料・会員同士の通話料無料。

オープンソースであるAsteriskベースのため、汎用性が大きい、機能拡張も可能。

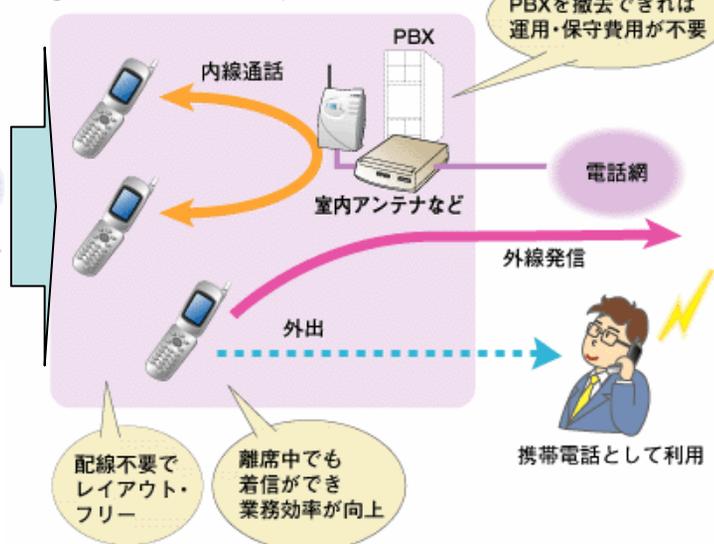
1「Asterisk」について

オープンソースのIP電話サーバソフト。IP - PBXの機能をソフトウェアで提供しています。Asteriskは1999年にDigium社のMark Spencer氏が開発を始めたもので、2004年9月に最初の正式版が公開されました。オープンソースソフトウェアとしてGPLに基づいて公開されており、誰でも自由に入手して利用したり、手を加えることができます。Asteriskはアナログ回線やISDN、SIP、H.323、MGCPなど様々な回線やプロトコルに対応し、IP電話の回線交換機(PBX)やプロトコル変換ゲートウェイとして利用できます。多人数による電話会議やボイスメール、音声自動応答(IVR)などの機能もサポートしており、他のアプリケーションソフトと連携するためのAPIも公開されています。従来、IP-PBXは高価な専用のハードウェアとソフトウェアを組み合わせた大規模で複雑なシステムが多かくありましたが、Asteriskを利用すればLinuxなどをインストールした一般的なパソコンに導入するだけで手軽にIP-PBXを実現できます。

●内線電話



●「モバイル・セントレックス」



2「モバイルセントレックス」について

従来、企業などの内線電話はPBX(構内交換機)と呼ばれる機器を建物内に設置して運用する必要がありましたが、近年では電話をIP化してPBXを排除し、IP電話サーバーの運用を通信事業者が請け負う「IPセントレックス」が目立っています。

モバイルセントレックスでは固定電話機と建物内の回線網も排除してしまい、個々人の持つ携帯電話を内線電話機に利用します。これにより、配置転換やレイアウト変更に伴う配線工事やPBXの設定変更等は一切不要になるほか、常に持ち歩く携帯電話では「席を外す」ことがなくなり、電話を取り次ぐ必要もなくなります。オフィスの内外を問わず常に連絡できます。

【「アジルフオンbiz」詳細】

従来のPBXの機能をASPにて提供するサービスです。これにより、高額なPBX装置の購入や工事費用が不要となり、ビジネスフォンの導入費用が従来の10分の1以下に削減できます。(初期費用3万円、月額基本料金3千円～)ブラウザ上にて様々な設定(内線設定や転送設定、ボイスメールなど)が可能です。また通話料金も拠点間通話無料、アジルフオン同士も無料などコストの軽減が図れます。

【「SoftBank X01NK/Nokia E61」詳細】

企業ユーザー向けに開発された「SoftBank X01NK/Nokia E61」は、IEEE802.11g(IEEE802.11b互換対応)の無線LANに対応しており、外出時にはソフトバンク3G携帯電話として、オフィスではVoIP電話として利用可能です。様々な業務、企業規模においても社員のモビリティを向上させることを可能としているほか、優れた操作性と機能、洗練されたデザインを採用した企業向けモデルです。詳細は、<http://mb.softbank.jp/mb/biz/product/x01nk/> をご覧ください。

【「VoiPshop(ブイ・オー・アイ・ピーショップ) <http://shop.agile.ne.jp/>」の3大特徴】

国内に輸入されていない、メーカーブランドIP電話機(リンクシス、グランドストリーム、スノム、ノキアなど)の商品を含めIP電話機10種類を購入可能(*年内に50種類を購入できる体制にしていく予定)
IP電話機を購入後、即時IP電話サービス「アジルフオンPRO」
「アジルフオンbiz」「アジルフオンbizモバイルセントレックスサービスfor Nokia E61」の申し込みも可能



プロユース、システム構築担当者向けにVOIP機器(SIPサーバ、IP-PBXアプライアンス、ルーター、PCに差し込むボードなど)を販売

VoIPとはVoice over Internet Protocolの略インターネットやイントラネットなどのTCP/IPをネットワーク使って音声データを送受信する技術。社内LANを使った内線電話や、インターネット電話などに応用されている。

アジルネットワークスについて

低コスト、高品質のIPPBX(IPを利用した回線交換機)のASP(システム期間貸し)サービスを提供する会社です。単なる電話サービスではなく、インターネットの特性を活かしたコミュニケーションツールを提供します。例えば、いつでもどこでも03の地域番号(今後06、050番号を対応予定)で発信・受信したり、SIP端末であれば、機材やプロバイダーに依存されず、通話できます。

またオフラインのときや通話中のときなど状況に応じて、他の電話に転送するか留守番電話に転送するかを設定でき、時間も選べます。

「ロケーションフリー、プロバイダフリー、タイムフリー」顧客に究極の便利さと自由度のあるネットワークを提供する会社、それがアジルネットワークスです。

社名:アジルネットワークス株式会社 (英文名: Agile Networks, Inc.)

本社: 〒106-0032 東京都港区六本木3-4-35 落合三幸ビル7F

TEL: 03-5575-6630 FAX: 03-5575-0655 E-mail: pr@agile.ne.jp

URL: www.agile.ne.jp

代表取締役: 篠田 亘司

設立: 2005年6月

資本金: 166,894,900円

事業内容

- 1、インターネット電話、IPビジネスフォンの提供
- 2、CRM、CTI、グループウェア等のSaaS (Software as a Service)、ASP

免許/届出: 電気通信事業者A-17-8474

取引銀行: 三井住友銀行/三菱東京UFJ銀行

会計監査人: 監査法人 よつば総合事務所

本リリースに関する報道関係者様のお問い合わせ先
アジルネットワークス株式会社 広報事務局
(株式会社フルフォース内) 担当: 中野、池田、武井
TEL: 03-5297-1662
E-mail: agile@fullforce.jp / URL: http://www.agile.ne.jp